遊煩悩林 寺報 2022.7

お盆の法要

左記のとおりお盆の法要をお勤め致します。

七月十六日（土）
午後四時
八月十六日（火）
午後四時

混雑を避けるため一法座定員２５名とし七月、八月の二座、お勤め致します。ご参詣の方は必ず事前に電話でご予約下さい。

お盆の期間
七月十三日より十六日
八月十三日より十六日
右記が一般的なお盆の期間となります。しかし土地によって期間の違いがありますので七月中旬より八月いっぱいまで、ご自宅、お寺でのお盆の読経を承ります。
尚、伺うお家が多いのでご希望の方は早めにご連絡ください。（事前連絡なくご参詣頂いても留守の場合門扉を閉めています。）
　初盆で無地の提灯を飾られた方は法要当日お寺に収めてください。お焚き上げします

住職
順正寺電話　０３−３９９６−２０６４
右は午前９時より午後６時まで
それ以外緊急の場合は
０８０−５４６４−９１３６

お盆と言えば、お墓詣り、盆踊り、お勤め人は長期休暇でしょうか。しかし、コロナの影響で様変わりもあります。ここ数年は盆踊りも中止になっていました。私は盆踊りが特段好きと言う事もなく子供が小さい頃は行きましたが十年以上行っていません。まあ、年に六回の法要（祭り）を主宰していますのでそれ以上お祭りに参加する気力が湧いてこないのでしょう。それでも、風に乗って音頭が聞こえてくるのは心地よく好きです。

昔から、思っていましたが何故お盆に踊るのでしょう?そもそもお盆の行事事体が日本独自の風習です。

で、そういう事を文献を漁ってきちんと調べる能力があれば今頃憧れの民俗学者になっていました。だがしかし私の場合はご存知の通りきちんとできず、妄想することの方が好きなので、以下妄想。

さて、仏教行事とされるお盆ですが、これは日本の仏教諸宗派に於いて釈迦の大弟子たる神通第一の目連尊者が餓鬼道に堕ちた母を救う話が書かれている「盂蘭盆経」を基とすると説かれます。目連の母が救われたのが七月十五日とされていますので、この頃をお盆として供養を行っています。で、この「盂蘭盆経」は現代では中国で出来た偽経と言われていますがそれは近代になって、文献学によって成立年代や成立場所が判明して分かったことです。日本に仏教が伝来した時には初期の阿含経から中期の浄土教典も中国で出来た経典もまとめて入ってきました。文献学では成立年代等重要なこととなりますが、仏教ではそこに真実が有るか無いかが重要になります。「盂蘭盆経」で言えば我執、我欲は死してなお、苦しみ続ける原因となり、そこから離れることによって苦しみから解放されることが説かれています。因みに母は苦しみから解放され踊りながら極楽に向かったと言われています。しかし数ある経典の中で何故このお経が選び取られ、お盆と言う行事になったのかは定かではありません。

さて平安時代に空也上人、鎌倉時代に一遍上人という念仏踊りを日本中に広めたお坊さんがいました。ひたすら「南無阿弥陀仏」を称えながら踊り続け、ある種トランス状態になり一時の苦しみからの解放が得られたのかもしれません。

時代を大きく遡り縄文時代。中沢新一と言う思想家は「アースダイバー」と言う著書の中で縄文時代の集落は広場を中心に家屋が建てられその広場は墓所であり、昼間は聖地として静寂が保たれ、夜には酒盛りと踊りが行われ、遺体を埋めたその上でまさに死者との交流が行われていたのではないかと考察しています。

そういえば、いつごろが起源か解りませんが阿波踊りも、おわら風の盆もお盆の時期ですね。笠で顔を覆い踊り歩くさまは何か幻想的な雰囲気が漂います。子供の頃盆踊りに行くと会場は賑やかで楽しいのですが帰路に段々音頭が遠ざかるにつれ、例え「オバキュウ音頭」でさえもの悲しさを感じました。他の国の事は解りませんが日本の舞、踊りには哀愁と言うか幽玄を感じさせるものがあります。それは遠い遠い昔の私たちの祖先が感じていたものの名残なのでしょう。盆踊りも櫓を中心に一方向にひたすら踊り歩きます。阿波踊りも、風の盆も一方向に並んで踊ります。そこに生者の交流は無く、それぞれが亡き人との交流をしているようにも見えます。

今年は盆踊りも復活するかもしれません。超久しぶりに足を運んでみようかな。ま、多分行かないけど。以上住職の妄想。

2週間後には参議院議員選挙が公示され、7月のお盆入り直前に投開票がされる模様です。今までにも増して盛り上がりも関心も寄せられない選挙になるのではないかなこのままでは。過去最低の投票率になってもおかしくないような雰囲気です。

とても大事な選挙だと思います。

いま、日本は戦争に向かってまっしぐら。軍備を増強することで安全が得られるというとんでもない愚行をますます増進させようとしています。

相手がナイフを持っているから自分もナイフを持ち、牽制し合う。恐怖はよりつのるので刀や剣をも用意します。すると相手も恐怖を感じ拳銃を。それならこちらはマシンガンを。そっちがその気なら相手は大砲を。ふざけるなとミサイルを。だったら核武装を。

こんな馬鹿げたやり取りが平和のためだと、安心のためだと言っているのだから呆れてしまいます。

「あの兵器は非人道的だ！」とか声高に騒ぐ人々がいますが、兵器に人道的なものなどあろうはずがありませんよね。戦争そのものが「非人道的」であり、人権侵害です。いかなる戦争であろうとも、たとえそれが自衛のためという理由があろうとも。「戦争に参加する国」を阻止できるかどうかが掛かっている大事な選挙です。

今、日本には約３００万人の外国籍の人々が生活しています。この人数は広島県の人口とほぼ同じです。そして、その人々はありとあらゆる制約のもとで暮らすことを余儀なくさせられています。差別や人権侵害も横行しています。

何よりもこの国の国民の多くは、日本国籍以外・欧米人以外も外国籍の人々は不良だというとんでも思考に侵されているようです。

だから、外国籍の人々への権利を剥奪することに躍起です。

このあり方は国連からも再三にわたって改善するよう勧告されていますが、無視しているのが現状です。

難民問題もあります。ウクライナからの難民を受け入れて「いい人日本」キャンペーンを国民あげて展開しようみたいに言っていますが、アフリカや中東からの難民の受け入れをそもそもしていないのです、日本は。２０２１年、日本の「難民受け入れます」というデマに騙されて来日し難民申請を出した人は２４１３人。そして、申請が通ったのはわずか７４人です。そんな日本がウクライナからの難民だけを特別に受け入れる。おそらく世界中から呆れられるでしょうね。「ウクライナ難民を利用していい人ぶってるだけじゃん」て。そして、ここぞとばかりに政府は入管法の改悪を目論んでいます、この秋を目処に。この改悪では、難民申請を３回以上は認めない。２回して却下され、それでも自国に帰らない人は犯罪者として扱うというメチャクチャな法律です。こんなのを通してしまったら、本当に日本は世界から無視されるようになりかねません。最終的には、我々日本人と呼ばれる、この国に国籍を持つ人間の意識の改善が必要なのでしょうが、今夏の選挙で投票をし、まずは一人ひとりが、知らないふり、見て見ぬ振りをすることをやめることが大事なのではないかなと思います。ご存知のように、この不当な差別を、人権侵害を被っている外国籍の人々には投票権がないのです。だからこそ、投票権を持つ我々の役割は大きいのではないでしょうか。

このあげた2点だけではなく、今夏の選挙は盛り上がりが欠けているのが不思議に思えるくらい重大な案件が絡んでいると思います。

なんか、寺報で、選挙に行こうキャンペーンておかしいでしょ？

でもね、憎しみ合いながら、にらみ合いながら、隣の人間を信用できない、殺し合う、傷つけ合う世界が好きですか。これは三悪道（地獄・餓鬼・畜生）です。

わたしは、できれば隣の人も、自分も武器を持たないで済む、互いに笑顔でいられる生活がしたいと思うので、それを目指したいだけなのです。浄土のあり方から少しは学びたいものです。　副住職

＊前回、糖尿の検査が楽しみだと書いたが結果は全然楽しくなく高値安定のままだった。で薬が一種類増えた。これが駄目だとまたインシュリン注射生活になる。面倒なのだあれは。でここに来て痛風の発作が出ている。通常なら四、五日で収まるが今回はここが収まりかけると次こっちと三か所連続でかれこれ二週間しかも結構痛い。あーヤダね、年のせいかね。

で、ぼやいていても老け込むだけなので、と言うか、幾つになっても馬鹿は馬鹿。最近メタバースに興味津々。パソコン使ってあれこれチョー苦手なのだがそこは己を知らない知ろうともしない能天気全開。まあ面倒なことは苦手だからやれるかどうかわかりませんがメタバースに順正寺布教所を開設したいと、今思いつきました。まあそういう事がシステムとして可能かどうかも分かりませんが。因みにclubhouse計画は頓挫したままだぜ！

合掌　住職

住職からのお願い

今東京では火葬場が不足しています。皆さんご経験のとおり通夜葬儀の日程はお寺の都合より火葬場の都合が優先されてしまいます。また土曜、日曜に行われる一日葬が増え、その為ご法事の時間のお約束を頂いていても変更をお願いすることが有ります。葬儀をお勤めすることはそのお家の方にとって一生の一大事です。そこは相身互い、どうかご寛恕下さいますようお願い致します

定例行事　いずれもご自由にご参加下さい

聞法会　毎月2日夜7時から、「御文」のお話、座談会をやっています（1月、8月はお休み）2時間ほど

グリーフケアの集い「微妙音」　一月、三月、八月お休み
毎月5日午後2時より2時間ほど

白色白光の会（婦人会）毎月第2木曜午後1時
お経（正信偈）の練習と法話と茶話会

仏像なぞり書き、塗り絵「仏像描くぞう」
毎月、第2月曜午後3時と月の最終日曜日午後3時から1時間　参加費三百円（初回のみ別途テキスト代千円）

照久山　順正寺　東京都練馬区石神井町三-十七-四
お問い合わせ。午前9時から午後5時までは
03-3996-2064
それ以外の時間、緊急の場合
080-5464-9136